

広島城下の古文書探訪！NHK学園古文書講座スクーリング「古文書巡見」

2014.6.11（レポーター 下向井祐子）

5月23日、NHK学園通信講座「古文書を読む」講座のスクーリングが、当館で開催されました。NHK学園古文書講座のスクーリングは、受講生の皆さんを対象として、毎年、各地に現存する古文書の閲覧を通じて歴史を学ぶことを目的として実施されています。今年度は「安芸広島、山陽道を旅する ～町となりわい～」と題し、竹原・広島・三原と山陽道を辿りながら、藩領時代の産業と流通に伴う町方の成長や商家の財力を背景とした文化の興隆などを学ぶ古文書の巡見の一環として、受講者の皆さんが当館を訪れました。

スクーリングの参加者は、全国各地から…



広島市、福山市など県内はもとより、岡山県、九州、さらに新潟県、山形県などから、60代～70代のシニア世代の方々を中心に27名の皆さんが参加されました。



広島城下の古文書の閲覧、皆さん楽しそうです！

研究員の講義の後、広島城下の商家の「家訓」や山陽道沿いの家並の図面「京橋町軒別図」、広島東照宮の「通り御祭礼」に関する文書や広島城下の侍屋敷を書いた絵図、藩札など、当館収蔵の古文書を、研究員の解説とともに見ていただきました。

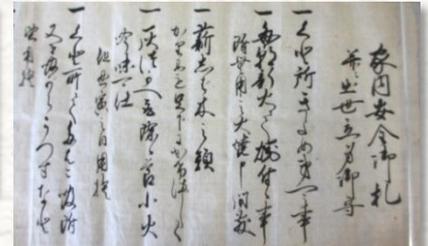
文書のくずし字をすらすら読める方も多く、「広島藩札が使用できる範囲は？」、「広島藩の茜色の公用紙は何で染めたのですか？」、「文書で使われる紙はどこで漉かれたものですか？」など、質問も活発に出され、参加者の皆さんの古文書への興味や関心の深さがうかがえました。



とうしょうぐうごさいれいずえ
「東照宮御祭礼図絵」
来年は徳川家康400年
忌に当たり、広島でも
「通り御祭礼」が行われ
る予定です。



ひろしまはんざつ
広島藩札
領内で庶民の取引にも
使われました。



かないあんぜんおふだならびにしゅつせりっしんおまもり
「家内安全御札并二世立身御守」保田家の家訓

展示の見学と書庫案内、参加者の真剣なまなざしに、書庫での研究員の説明にも、熱が入ります。



広島城下の古文書は、原爆で焼けて壊滅的な被害を受けましたが、今回閲覧していただいた古文書は、戦時中、疎開などで大事に守られ、焼失をまぬがれた貴重な資料です。参加者の皆さんも、古文書のくずし字を読み解く楽しさだけでなく、文書を大切に残して未来へと伝えてきた人々の努力を、肌で感じてくださったのではないのでしょうか。文書館では、古文書などの収蔵資料を、どなたでも実際に手に取って閲覧していただくことができます。今後も様々な機会を通じて、こうした文書館の魅力をアピールし、より多くの方々に文書館の資料を利用・活用していただければと思います。